

令和 7 年度 第 11 回市民と議会の意見交換会 実 施 内 容

R 7 . 7 . 25, 7 . 26 喜多方市議会

開催状況

日 時	会 場	参加者数（人）		
		男	女	計
7月25日（金） 午後6時30分～8時	山都公民館	9	1	10
	熱塩加納公民館	7	0	7
	アイデミきたかた	5	2	7
7月26日（土） 午後4時～5時30分	市役所本庁舎	11	3	14
	塩川ふるさと会館	14	1	15
	高郷公民館	3	1	4
合 計		49	8	57

班及び役割分担

会 場	山 都 保 健 セ ン タ ー	熱 塩 加 納 公 民 館	ア イ デ ミ き た か た
	市 役 所 本 庁 舎	塩 川 公 民 館	高 郷 公 民 館
司会者 (班 長)	高 畑 孝 一	渡 部 一 樹	山 口 和 男
座 長 (総 務 常 任 委 員 会)	小 島 雄 一	矢 吹 哲 哉	五 十 嵐 吉 也
座 長 (文 教 厚 生 常 任 委 員 会)	齋 藤 仁 一	佐 原 正 秀	菊 地 と も 子
座 長 (産 業 建 設 常 任 委 員 会)	佐 藤 忠 孝	小 林 時 夫	山 口 文 章
書 記 者 (総 務 常 任 委 員 会)	遠 藤 吉 正	上 野 利 一 郎	坂 内 ま ゆ み
書 記 者 (文 教 厚 生 常 任 委 員 会)	渡 部 忠 寛	田 中 修 身	十 二 村 秀 孝
書 記 者 (産 業 建 設 常 任 委 員 会)	齋 藤 勘 一 郎	渡 部 勇 一	後 藤 誠 司

各常任委員会の各テーマについていただきましたご意見・要望等については、議会から市当局への政策提言の参考とし活かしてまいります。

各常任委員会のテーマ

総務常任委員会：「喜多方市の財政改革の内容について」

文教厚生常任委員会：「喜多方市の子育て支援について」

産業建設常任委員会：「喜多方市の地域資源の活用について」

総務常任委員会：「喜多方市の財政改革の内容について」

No.	会場	意見要望等
1	山都公民館	喜多方市の財政改革の内容について説明を受け、財政の現状課題について理解はできる。令和7年から令和9年の財政健全化プランにある5つの観点から実効性のある施策について、具体的な数値目標・実施スケジュール・市民への説明が不可欠ではないか、また、実施に向けてしっかり取り組んで欲しい、そのためにいくつかの提案をしたい。 ・基金積み立ての再開、これはすでに再開できる状況と思う。・投資事業（建物、道路等ハード事業）については精査して優先順位をつけてしっかり予算（収支）精査し余計な予算は使わない。・自主財源の底上げ、喜多方市の商工観光資源であるたとえば喜多方ラーメン、そば、鳥もつ等を活用したふるさと納税の拡充。・企業誘致。・市民参加による財政状況ワークショップまたは、説明会の実施。市民としても厳しい状況で我慢しなければいけないのは理解できるが、その理由についてしっかり説明が欲しい。また、例として米沢藩の上杉鷹山公が行った質素儉約と同時に産業振興のように必要な場合にはしっかり予算を使う。
2	山都公民館	財政調整基金がなくなるなど財政が厳しくなった理由は何故か。
3	山都公民館	財政調整基金が0になった場合の影響は。
4	山都公民館	人件費の抑制について説明があったが、現在民間では人口減少等により働き手がなく人材不足が起きている、市職員について人数を減らすのではなくDXを推進するとともに、職員として身分を保証し民間へ派遣すればよいのではないか。給料は民間で負担し民間と市で人材の調整を図ってはどうか。

5	山都公民館	財政が厳しい状況はわかった。特にコロナ感染症対策で多くの予算を使ったのはわかるが、この時に各地域のイベントがなくなり予算もなくなった。例えば山都町では敬老会などが開発センターで賑やかに行われるなど地域の繋がりもあった。市が福祉・医療や子育てを掲げているが、今年の敬老会の予算は1,700円で昨年までの1,850円から150円削減されている。記念品の場合は1,200円となっている。老人を大事にしなければ若者も付いてこないのではないのか。
6	山都公民館	これまでは市の広報で財政状況を市民に伝えていたが、今年も伝えたのか。
7	山都公民館	市の歳入・歳出についてもっと市民へ説明があっても良いのではないのか。例えばイベント等については市として多額の支出をしている例えば桜まつり（しだれ桜）で昨年までは500円だった協力金が今年から1,000円を頂いている。これだけでも多くの収入があるのではないのか。また経済効果などはどうなっているのか市民へ伝えるべきではないのか。
8	山都公民館	今年になって財政状況の悪化が表面化した但、これまでも良くなかったのではないのか。今回市長、副市長、教育長の報酬削減が報じられたが、議員についてはどのようになっているのか。
9	山都公民館	財政が厳しい中、何故デマンド交通に多くの予算を使っているのか。デマンド交通についてはあまり利用者がいないのではないのか。また使い勝手が悪いのではないのか。もっと利用者の声などをアンケートで取るなど声を反映させるなど努力が必要ではなな。さらにPR不足ではないのか。
10	山都公民館	財政健全化プランの視点の中に公共施設の在り方の見直しがあるが、これはいいで荘や温泉施設も含まれるのか。
11	市役所本庁舎	今日の資料で説明頂いた財政健全化プラン5つの視点の中の総人件費の抑制とあるが、これは職員及び議員についてと考えるが具体的にはどのように進めるのか伺いたい。
12	市役所本庁舎	財政が厳しい状況になった理由にコロナ感染症対策があるが、現在財政が厳しい中でまた、コロナのような感染症が発生した場合は大丈夫か。
13	市役所本庁舎	公共施設の在り方の見直しについて、財政が厳しいのであれば温泉施設や複合施設の2期工事についても現在の建物を使用できるのであれば見直しをすべきではないのか。
14	市役所本庁舎	財政の問題について2つの視点から指摘をしたい。一つは自主財源比率が低い、私が調べたところ令和5年度で一般会計296億円の内自主財源は28.7%。令和4年度は299億円の内29.1%となっている。財政健全化を示す数字ではないが、自主財源が少ないと財政の安定性が図れない。二つ目は、歳出の見直しを立ち止まってか見るべきではないのか。例として喜多方市は水道料金を値上げした。これは人口が減れば分母も減る老朽化等でさらに維持経費もかかる。6年後にはさらに水道料金を上げる予定とされている。私は、水道課へ喜多方の水を売って収入を増やすべきと提案し

		たが国の制度によってこれはできないとなっているとの事だが、これは国の制度がおかしいのではない。人口が減っていけば予算規模も減る、これまでの行政活動・サービスをダウンしないと提供できなくなるのは当然と考えるしこのままでは予算が組めなくなる。今回の財政健全化の5つの視点で歳入の確保があるが、民間の視点で税以外の収入を増やすべきではないか。民間であれば赤字が連続すれば倒産してしまう、市だから税収で補うことができるのではないか。民間の視点で見直すべきではないか、具体的にはふるさと振興株式会社へ年間3億2千万支出している。また夢の森には社会福祉協議会へ4千万支出している。これは隠れ蓑にした支出ではないか。当然美術館やカイギウランド・スポーツ施設等市が運営すべき施設は理解できるが、行政が4か所の温泉施設を持って運営して合併してすでに20年経過しているのにおかしいのではないか。もう一度立ち止まってすべての業務について見直して本当に市民が望んでいるサービスなのか検証すべきではないかと考えるので、私は今回の財政健全化の視点については賛成する。
15	市役所本庁舎	説明内容については理解できる、経常収支比率が92%以上であり、かなり硬直化をして新たな事業ができないほどとなっている事については市民としても危機感を持たなければいけないと思う。しかし具体的に今これをやれば解決できる事ではないか。喜多方市は未来に拓く人材育成ができる地域だと思うし新規性のある取組ができるのではないか。例えばDX化で選挙には多くの予算がかかるがこれをDX化し予算を削減し、削減された予算を高齢者などの情報支援にまわすなど工夫が必要ではないか。身を切る削減も必要だと思うが、やれる所からやる努力を見せることが必要ではないか。
16	市役所本庁舎	公共施設は営利目的では借りられないのか。マルシェなどに取り組んでいる方々が借りられない例がある。営利目的でもイベントによっては地域の活性化に繋がるのではないか。
17	市役所本庁舎	総人件費の抑制について説明があったが、現在行政の仕事の複雑化・国の要求により仕事が増えている状態で職員を削減することは難しい所があるのではないか。山都町ではまちづくり協議会を立ち上げ行政が届かない住民が望むサービスや地域活性化策を協議会が行っている。市から年間100万円を3年間だけ助成していただいてその後は自主財源となる。市の職員がやっている業務の中にはあきらかに協議会へ委託してしまった方が高い給与をもらっている職員がするよりまちづくり協議会へ委託した方が予算削減できるのではないか。例えば冬の除雪ボランティアについてわれわれがチケットをもらって行っているが、会計管理は市の職員が行っている。これは市の職員でなく協議会でもできるのではないか。その業務を協議会へ委託し委託料を支払えば自主運営の財源になるのではないか。一度仕事全体の見直しを図りその業務が各地域へのまちづくり協議会へ振れることができれば職員も他の業務ができたり人件費の抑制にもなるのではないか。行政の仕事を分けてスリム化し中間団体的なNPOやまちづくり協議会をもっと積極

		的につくりそこへ機能を持たせて事務職員を配置すべきではないか。また公民館事業も公民館だけがするのではなくまちづくり協議会とセットアップし地域の事業を管理業務委託することにより、まちづくり協議会が運営する財源を得ることができ地域の文化的な活動もできるのではないのか。このように単純に人件費の抑制として人員を減らしたり給与を削減するのではなく行政全体の仕事を見直しをしないといけないのではないのか。また協議会へ委託することにより地域で仕事が生まれたりするのではないのか。
18	市役所本庁舎	財政難の中で職員や議員の給与が上がった話を聞く、ただ三役の給与が削減されたことも聞く。やはり議員の定数が多いので削減すべきではないか。次に敬老会の補助金について説明会で差別ではないのかなどの意見が数多く出た。また議会で決めたとのことだった。説明会を行う前に区長へアンケートをすべきではなかったか。
19	市役所本庁舎	喜多方市のふるさと納税はどのようなになっているのか。
20	熱塩加納公民館	税収増加への提案。IT 環境整備による企業誘致。秋田県東成瀬村の成功事例の紹介。役場庁舎の IT 環境を整備して企業を誘致。27 人の若者が集まり、270 人の雇用を創出。喜多方市での可能性。耶麻農業高校跡地や役場跡地の活用。自然環境を活かした IT 関連企業の誘致。
21	熱塩加納公民館	公共施設の有効活用。Wi-Fi 環境の整備が必要。情報発信環境の整備が逆に悪化している現状。
22	熱塩加納公民館	行政区の現状。税収基盤の弱さ。16,500 世帯のうち、11,000 世帯のみが課税対象。5,500 世帯が非課税世帯（主に高齢者世帯）行政区の財政状況が厳しく、高齢者支援に苦労している。
23	熱塩加納公民館	他の自治体の成功事例を参考に、税収増加策を検討する。公共施設跡地の IT 環境整備による企業誘致の可能性を調査。高齢者支援予算の見直しと効率的な配分方法の検討。費用対効果を重視した事業評価の仕組みを強化。
24	熱塩加納公民館	温泉施設の課題。1 台あたり 2000 万円、ケーブルが 2000 万円で合計約 5000 万円の費用がかかる。故障が 2・3 年に一度発生している。収入は 200 万円程度だが、5000 万円以上の投資が必要な状況。
25	熱塩加納公民館	住民利用率の調査提案。熱塩加納地区の住民に対するアンケート実施の必要性。利用率が 10 または 15%程度と低い場合、存続の正当性が問われる。段階的なプロセスを踏むことで、今後の方向性を決定すべき。
26	熱塩加納公民館	温泉施設の比較検討。施設の特徴比較。「蔵の湯」と「夢の森」の位置づけの違い。目的の違い。観光目的と高齢者福祉目的。施設間の距離は遠くない。運営上の課題。バイト不足の問題。雇用問題も関連している。
27	熱塩加納公民館	三ノ倉高原事業の経済効果分析。現状：年間予算 3500 万円（人件費含む）を使用している。課題：実際の経済効果が不明確。提案された分析方法：国道 121 号線閉鎖時と通常時の来場者数比較による米沢からの来訪者数の把握。通過型観光客（経済効果の低い来訪者）の割合を数値化する必要性。

28	熱塩加納公民館	不要な事業の見直しと経費削減が必要。ひまわり事業も当初より集客力が低下している。協力金（駐車場代）が 500 円から 1000 円に値上げされたことによる懸念。
29	熱塩加納公民館	夢の森温泉施設の問題。現状：温泉ポンプが稼働していない。修理費用：調査費 200 万円、再稼働には 5000 万円必要。収支バランス：年間収入は約 170 万円（入浴料 300 円/人）2・3 年ごとに大規模修繕が必要（費用対効果が悪い）。2 月から営業停止中。地元住民からは再開を望む声もある。
30	熱塩加納公民館	総合支所の将来。老朽化が進行（特にトイレの問題）。耐震化されていない。廃止の方向性も検討中。代替案：夢の森に最低限の行政窓口機能に移設。オンラインでの対応強化。
31	熱塩加納公民館	公民館機能。体育館や野球場の貸出業務は継続の必要性あり。利用状況を踏まえた判断が必要。
32	塩川ふるさと会館	財政悪化に対する議会の監査機能についての意見交換。議会も予算承認の責任があるという指摘。昨年度の当初予算では図書館予算の凍結に 6 名が反対。アイデミきたかたの二期工事、図書館、厚生会館施設については一度白紙に戻すよう提案があった。
33	塩川ふるさと会館	深刻な人口減少の実例が共有された。昭和 24 年には 111 人の子どもがいた地区が現在は 3 人のみ。人口減少は 30～40 年前から予測されていた問題。子どもの声が聞こえない地域社会の課題。
34	塩川ふるさと会館	駒形のそばの潜在的価値。高品質な地域資源としての可能性。アスパラとの組み合わせによる地域振興の可能性。景観資源（夜景）の活用可能性。
35	塩川ふるさと会館	財政縮小時代における優先順位の明確化。「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」の選択が必要。新規施設よりも水道管・下水道管などのインフラ整備の重要性。少子化対策の必要性。
36	塩川ふるさと会館	収入増加の方策。観光客誘致の強化。外国人観光客の呼び込み。SNS（YouTube、Instagram）などを活用した効果的な地域 PR。地元の魅力（そば、ラーメン以外の食文化も）の発信。
37	塩川ふるさと会館	PDCA サイクルの徹底が必要。特に「チェック」の部分が重要で、定期的（3 ヶ月または 6 ヶ月ごと）に実施すべき。議会は行政機関（市役所）のチェック機能を果たす責任がある。
38	アイデミきたかた	財政健全化プランを 3 ヶ年でやっていくということだが具体的に総論は賛成、各論は反対になってしまうと思う。総論には賛成だが、各論になると自分のことに降りかかってくるので反対になる、そのへんのところは市民への丁寧な説明が必要ではないかと思う。
39	アイデミきたかた	公共施設をどのように維持、統廃合すべきかについては、公共施設の中に学校がある。高校においては若松の高校に通学している生徒多く見られる。小中学校において果たして大きな地域に集めることがよいこととは思わない。上三

		宮小学校のような特色のある学校もいいのではないかと思います。
40	アイデミきたかた	今の仕組みの流れの中で人件費を減らすということは、職員数を減らすことになる。それでは住民サービスの低下につながってしまうのではないか。行政の仕事を細かく見直しをして仕事の配分化をしていくことが必要ではないか。山都町では、まちづくり協議会を立ち上げ行政では手の届かない、或いは行政ではやらないような行政的サービスを担っている。職員がやっていた仕事を、協議会等へ委託することにより職員の仕事のボリュームが減る。仮に職員数が減ったとしても地域密着型の人たちで担うような仕組みづくりが必要ではないか。
41	アイデミきたかた	民間会社でQC活動をやってきた。まさしく喜多方市がそれではないかと思う。テーマ選定→現状把握→原因分析→対策立案→実行→効果確認→標準化・管理の定着
42	アイデミきたかた	優先順位をどうするかということ大切。若者が定着していかないと地域は衰退してしまうので、若者に納得してもらえるようなことを優先していくことが必要ではないか。
43	アイデミきたかた	会津若松市の湊地区では、民間会社と連携を図り高齢者にタブレットを配布し健康管理をしている。業務の効率化を図ることも必要だと思う。
44	アイデミきたかた	課の編成を見直して、職員数を削減していくことも考えられるのではないか。今年から見直しをかけているようだがその結果はどうかを、見ていくことが大事だと思う。
45	アイデミきたかた	喜多方市は会津若松市と比べると、除雪に関しても、ごみの問題に関してもよくやられているので、お金がないということを初めて知った。喜多方に住んでいる人達は、財政難だとはあまり思っていないのではないか。
46	アイデミきたかた	山都町のごみ処理の熱を利用して、屋内プール、温泉施設をつくってはどうか。中途半端なことはやらない方がいいと思う。他にはないものをつくり、人を集めることが必要ではないか。
47	アイデミきたかた	補助金の見直しをしていくべき、喜多方市がなくなってしまううちに、人がいるうちに手を打つべきだと思う。
48	アイデミきたかた	固定費を減らすにはやはり人件費だと思うので、職員数を減らしていくことが必要だと思う。
49	アイデミきたかた	支所については合併する必要があるのではないかと思います。
50	アイデミきたかた	甲斐本家についても見直す必要があるのではないか。今はもっと柔軟な対応が必要な時ではないかと思う。
51	高郷公民館	学校の統合についてはももとは反対だったが、市の財政を考えると高郷中学校と山都中学校の統合ではなく喜多方一中へ統合した方がいいのではと今更思う。赤字路線の磐越西線で通学することでもいいのではと思う。中学校は喜多方市の一中、二中、三中、塩川中に集約した方がいいのではないかと感じてしまう。こんなに財政難なのに高郷中と山都中の統合にお金をかけていいのかと思うようになってきた。先生の数も足りない、生徒の数も先が見えているのにという思いが今更ながら

		思えてきた。
52	高郷公民館	人口増は期待できない高郷には県営の漕艇場があるので、交流人口を増やしていくことが必要ではないかと思う。今、漕艇場の工事が行われているが何かないと何もやってくれない。
53	高郷公民館	喜多方二小の前を通ると外壁がボロボロになっているのでそこは修繕すべきだ。喜多方市の財政難が見えてしまう。
54	高郷公民館	財政難、財政難というが市民はよく分らない。
55	高郷公民館	職員数を減らし、議員数も減らしていくべきではないか。また、議員の定年制を設けるべきではないか。
56	高郷公民館	職員の給与、議員の報酬を減らして財政難に対応するべきではないか。
57	高郷公民館	人口を増やすことを考えないといけないのではないか。子育て支援というよりもそれ以前の問題ではないか。人口が増えないと税収も入ってこない。
58	高郷公民館	とにかく人件費を減らすことだと思う。
59	高郷公民館	会津若松市に住んでいて高郷に戻ってきたが、会津若松市と比べると喜多方市はいろんな補助金があつていいと言われる。いろんなことに対して補助金を出しているが、お金がないとすればどこをどのように優先していくべきか、優先順位を決めていくべきではないか。財政が厳しいからといって、今まで補助金を受けていたものがなくなるということに対しての丁寧な説明は必要ではないか。補助金の見直しについては本当に難しいことだと思う。補助金があつたものをなくすことは、本当に難しいことだと思う。減らす時は、市民に対しての根回しが重要とだと思う。
60	高郷公民館	なぜ喜多方市に人がこないのか、子どもたちは他に家を建てて帰ってこない。いろんな面で補助金が削られるとなると、子どもたちはますます帰ってこないのではないか。人口は減るが、熊、イノシシ、猿などが出没して大変な状況で空き家も増えている。なぜこんなに人口が減ったのか、人を集めないといけない。人が増えると財源が増えるので。

文教厚生常任委員会：「喜多方市の子育て支援について」

No.	会場	意見要望等
1	山都公民館	転入時に子育ても含む制度や国県市の事業内容について詳しく説明していただきたい。また、説明漏れがないようにしていただきたい。制度を丁寧に説明することで喜多方市の評判向上にも繋がるはずである。
2	山都公民館	未就学児保育施設の待機児童はいないので、子どもの支援には手厚いと感じている。しかしながら、若い人が山都町

		から塩川や喜多方に引っ越してしまい帰ってこない。
3	山都公民館	昭和村から子どもに剣道を習わせたいということで、山都町へ引っ越してきた家族がいる。何がきっかけで移住に繋がるかわからない。
4	山都公民館	子供の社会保障を手厚くしても帰ってこない。他自治体ではもっと手厚いのではないかな。
5	山都公民館	仕事がないから人がいなくなり子どもも少なくなる。産婦人科や救急医療が市内にない。
6	山都公民館	結婚数の増加が鍵である。お見合いや出会いの場を市で斡旋しているのか。
7	山都公民館	もっと、子育て支援やオンライン診療の強化をお願いしたい。
8	山都公民館	子育て世代の低所得者世帯の割合が増えている。もっと支援を手厚くしてはどうか。
9	山都公民館	広報やホームページの文がかたく、わかりづらい。
10	山都公民館	若い人が定住しやすい、活気あふれる環境づくりをお願いしたい。
11	山都公民館	レディースクリニックがない。中学生や高校生にとっても必要。産みやすい環境も作るべき。
12	山都公民館	教育の充実を図る意味で旧喜多方東高跡地に小中一貫校を作っていただきたい。多人数教育は競争原理が強まる。部活動のジャンルが増え、子どもたちにとって多くの選択肢が増える。また、目玉となるような専門教育に取り組んでいただきたい。独自性あふれる教育は移住定住者を増やす手段にもなる。さらに、各校の統合については教員不足の解消にも繋がる。図書館の機能を付帯するなど自由な発想を取り入れてはいかかがか。今こそ思い切った教育改革をしていただきたい。
13	山都公民館	山都中、高郷中の統合については、先日教育委員会より旧耶麻農業高校に統合し、農業に特化した取り組みや外部企業、大学のサテライトとするなどの説明があった。突然の説明に寝耳に水であった。外部の方の出入りは子どもたちの安全な教育環境となるのか、セキュリティはどのようにするのか。8月5日に調印式と聞いているが、納得いかない。事前に協議を重ねる必要があると考えるがいかがか。
14	市役所本庁舎	喜多方市でも不登校生徒が多い。特に中学生が多いとみている。小学生についてはれんがやウィズユーを利用している子もいるが、中学生が安心していける場所を増やしていただきたい。発達障害児を含めた受け皿整備を推進していただきたい。療育に係わる意見交換が行える場所も確保してほしい。
15	市役所本庁舎	市の少子化対策について、婚姻に力を入れるべき。令和5年度の婚姻数は110組であり、少子化は少母化から始まっている。高校生の進学就職についても市に留まる子どもは全体の1/10にも達していない。原因は正規雇用が少ないことや給与水準も低いこと、奨学金の返済についても負担感を持っている。他にも様々な要因があるため、抜本的な挺

		入れが必要。
16	市役所本庁舎	小中学校の統廃合について、財政難と聞いているがしっかりやれるのか。
17	市役所本庁舎	子育て世代は物価高で苦しい生活をしている世帯は少なくない。子ども食堂などの支援施設や支援体制を強化していただきたい。
18	市役所本庁舎	中学生の学力が低下している。学力向上の施策を考えていただきたい。
19	市役所本庁舎	男女のカップリングや出会いの場の創出をしてほしい。マッチングアプリへの登録促進を行っていただきたい。また、移住・定住、企業誘致への取組みを強化していただきたい。世話やき人会のような団体に議員も率先して取り組んでみてはいかがか。
20	市役所本庁舎	子育て世代の保護者の労働形態を向上させるべき。(非正規雇用→正規雇用など) この件については県や国へ要望していただきたい。
21	市役所本庁舎	小中学校の教材が不足しており、PTA が予算要望している。また、教室のエアコンが足りていないと話を聞いている。早急に改善していただきたい。
22	熱塩加納公民館	どこの地域も同じだと思うが、働く場がないから若者が外へ出てしまう。問題はそこだと思う。会社等を誘致するなんていうのは簡単にはできないけれども、働く場がないとダメだと思う。賃金は安いし難しい問題だと思う。
23	熱塩加納公民館	働き場も喜多方だから、町に出たほうがいいというのが常套手段で不思議ではない。ますますそういうふうになってくるだろうし、そこをなんとかしなければと言っても、会社も工場もないんだから。市としては毎年予算が削られて、やってあげたいけどできないというのが実情なんだろうけど、手厚い補助金なり支援体制を強化するしか手はないと思う。
24	熱塩加納公民館	移住者が来て良かったと思われるような施策、これもお金が絡んでくるけれど、「何年かは税金要らない」とか思い切った政策が必要だと思う。実際やっているところがある。
25	熱塩加納公民館	移住者を増やすというのも簡単ではないけれど、人口減少の中でそういうところにも目を向けることも必要だと思う。
26	熱塩加納公民館	「すべての子ども・若者が健やかに育ち、幸せな生活を送れる社会の実現を目指す」そもそもの目的はなんですか？人口が減るのを防ぐために子育て支援をするということですか？
27	熱塩加納公民館	自分の子どもも地元にはいない。それは、やりたい仕事がないから。その仕事が確保できるのかと言ったら難しいと思う。自分が若い頃、熱塩加納村の産業といたら農協と役場と保育所しかないと言われていた。それをどうするのかなというところだと思う。

28	熱塩加納公民館	教育だって実際に東京に住んでいたほうが、下宿代など親に負担をかける必要はない。すでに向こうで教育活動がで きちゃっている。
29	熱塩加納公民館	「何とかしなければならない」という気持ちはあるが、ハードルが高すぎる。全国の各市町村が同じ問題を抱えてい る。とんでもない考えで実行しなければ実際帰ることはできない。中途半端はやらないほうがいい。「税金は要らない」 「家をタダでやる」など、そのぐらいのはっきりしたことをやって移住者を増やすとかしないとダメだと思う。テレ ビの取材が来るような思い切ったことをしないと変わらないと思う。
30	熱塩加納公民館	現状維持ではダメで、後退してしまう。競争に負けてしまう。市民もびっくりするような思い切った政策をしないと ダメだと思う。全国からもオット思われるような政策。何か一つでもいいからやってほしい。この10年以内に何かや らないとダメだと思う。
31	熱塩加納公民館	どちらかという熱塩小学校や会北中学校の空き校舎をどうするのか興味深い。今更「統合やめろ」「会北残せ」と言 ってみてもしょうがないし、そうなってくると今あるものをどうするのか、校舎など箱物をどうしていったらいいの ということになってくる。
32	熱塩加納公民館	それよりも学校給食の問題である。熱塩加納地区には小学校1校だけになってしまう。それがどうなっちゃうの？結 局ジリ貧で熱塩加納で築き上げてきた40年の給食の歴史のようなものが無くなってしまいうんでしょね。そこは何と か死守しないと、と思う。ラーメンとかやっている場合でなくて、死守するのはそっちだろうと思う。
33	熱塩加納公民館	「まごころ野菜の会」も熱塩加納の村の中の子どものたちのためにといってみんなが野菜を供給しているわけだから、 それが区域が変わっちゃうとどうなのという問題もあると思う。根本的に考え方を変えて、熱塩加納だからじゃなく て、喜多方市でも全体的にやっていく形にしていけないと、多分無くして終わりにになってしまう。
34	熱塩加納公民館	エリアは変わっても継続してやっていてもらいたい。
35	熱塩加納公民館	せっかく文部科学大臣賞まで受賞して、全国あちこちから見学に来てもらっている状況なのだから、そこは死守しな いといけないと思う。今までがこうだったからではなくて、新たに創り上げる形を考えないと、なかなか継続は難し いかなと思う。
36	熱塩加納公民館	もし喜多方の給食センター（共同調理場）からの供給になっても熱塩加納方式は、続けてもらいたい。
37	熱塩加納公民館	しかし、そうなると野菜の量が多いのと同時に、熱塩加納の場合は規格外の野菜でも調理するから調理員が多い。そ れを喜多方の給食センター（共同調理場）に移行することはできないと思う。
38	熱塩加納公民館	逆に調理員の人数を増やさなければならず、財政的な問題からすると難しい問題が山積みすることになる。だからそ

		こは根本的に全部ひっくり返して真っ平なところから築き上げていかないと多分なくなると思う。
39	熱塩加納公民館	(熱塩加納方式は) みんなの気持ちでもっていた部分が大きいからそこが問題で、それってお金では勘定できないものである。
40	熱塩加納公民館	一気に2校無くなるのは非常に大きい。何かに活用するといっても、お金をかけてまでやって、人が来るかという、利用価値はないだろう。おそらく10年後くらいには解体という話になってしまうだろう。
41	熱塩加納公民館	学生を呼ぶための方策を考えているのですが、関係人口として入ってくるいい宿泊場所だったり、(熱塩温泉には) もう山形屋しかないし、宿泊場所がどんどん無くなってきているので、ちょっとした林間学校的なものができるかどうか。
42	熱塩加納公民館	子育て支援もいいけれど結婚支援というもの考えてほしい。結婚しないことには子育てもない。
43	熱塩加納公民館	子育て支援は大事だと思います。また、ニュースに取り上げられるような話題性が必要だと思います。その前に若者が定着できるような魅力ある喜多方市を作って、定住できて他所から若者が来るような、それがないと子どもが生まれないので。
44	熱塩加納公民館	毎年、小学生の入学生が少なくなっていった去年は熱塩小学校3人とか。子どもがどんどん減っていっているので子育て支援といっても子どもがいない、子どもが生まれる環境を作らないと子育て支援は後手後手にまわってしまうと思う。
45	熱塩加納公民館	子どもがいて初めて子育て支援だと思うので、「喜多方市はこんなすごいことをやっていますよ」というのを見て入ってくる人も確かにいるのかもしれないですけど、それはどこでもやっているはずで、子どもを作ってもらったり若い人に入ってきてもらったりすることを先にやらないと「子育てだけの支援をしても」という、そんな時代になってしまったと思う。
46	熱塩加納公民館	子育て子育てだけでは、子育て支援は空回りしてしまう。若者が出ていかない、魅力的な喜多方市を作っていかなくちゃいけないと思う。秋田県の東成瀬村の例、2年前にIT環境を整えた。Wi-Fiも整えIT企業来てくださいと誘致した。結果27人の若者が集まった。その若者が企業を起こして約200名の雇用を産んだ。婚姻関係が生じて子育てが始まる。すると明るい未来が見えて来るんですね。人を集めないと子育ても敬老会の支援も何もできないと思う。
47	熱塩加納公民館	敬老会予算を子育て支援に予算を回すためにも若者を雇用し、子どもが生まれる環境、魅力的な喜多方市を作っていないと何も始まらない。若者がどんどん出ていってしまう。会津若松に行く、福島県内にいけばまだしも、東京や仙台へ行っちゃうとかになったら、本当に子どもを作る世代がいなくなってしまうほうが危機的だと思います。そこに

		危機感を持っています。
48	熱塩加納公民館	今年のレトロ横丁はとても賑わって、人の出会いもいっぱいあって、喜多方市にこんなに若い人がいたんだ、とても喜んだ。その若い人たちを喜多方市に居ずかせる仕組みと環境を整えていかなくちゃいけないとすごく感じました。
49	熱塩加納公民館	市町村合併をして熱塩加納は、小学校も中学校も無くなるわけだから、それと同じように喜多方市も魅力がなくなれば、仙台に行くとか郡山に行くとか、喜多方が比べられた時に行っちゃうような今の状況かなと思う。
50	熱塩加納公民館	人口 4 万人の市で、年間 208 人しか子どもが生まれなかったら、限界集落ということになってしまう。
51	熱塩加納公民館	子どもが減っていくので子ども一人にかかる予算とういうのは増えていき、充実していくと思うんですけどそこじゃない。やっぱり子どもが生まれないことには。片や年寄りが増えていく。
52	熱塩加納公民館	生活困難世帯への包括支援と書かれていますが、今後の取り組みなんですね。生活困難世帯とは、喜多方市ではどういう方を基準にしているんですか？「包括」ということは、いろんな支援を考えているということなんですね。子育てから老人介護まで。
53	熱塩加納公民館	ニュースに取り上げられるほどの話題性が必要。例えば、子ども 1 人うまれたら 100 万円とか。でもそれって魅力かなと思う。それよりも若者を連れて来ないと、と思う。
54	塩川ふるさと会館	子育てとかやっても結局はみんな出ていってしまう。魅力がないんですよ。子育て支援は大事だと思うが、子育てが終わると結局は都会に送り出すことになってしまう。もっと住んでいてほしいんだったら、仕事とかないと、はっきりいって喜多方はない。息子は小さな工場に入って働いているが給料が安い。子ども支援よりも働くところ作ってやることだと思う。最近、システム作りなどネットワーク環境と住むところさえあれば仕事はできる。
55	塩川ふるさと会館	息子もまだ独身です。市内にはたくさん独身者がいるんですよ。
56	塩川ふるさと会館	どこかの自治体でやっていたが、自治体が新築の家を建てて何年間住んだらあげますよというような政策はどうか。
57	塩川ふるさと会館	年間の出生数が 208 人というのはびっくりしました。子育て支援をしても結局は子どもを都会に送り出してしまう。それよりも若い人に定着してもらうのが先ではないか。そのためにはどうしたらいいか。喜多方の宣伝が足りないのではないか。
58	塩川ふるさと会館	子どもが少ないのは若い男女のペアが少ないから、また仕事場とかの環境ということもあるかもしれないが、あまりそちらばかりに集中しても、結局はまわりからそういう人を呼ぶみたいな感じで。人が来ないことにはそういうことはないわけで、魅力があるといったそれは生活のしやすさとか、そういうことも大事な面であって、あとは少ない子どもらを如何に丁寧に面倒を見てもらえるとか、しっかり面倒見てもらえるかそういうことがあって、あそこは

		子育てを重点的にやってくれるから、じゃ喜多方で住んで子どもたちを任せよう、みたいなふうになれば来る方もいるかもしれないが、今居る人で子どもを産め産めといったってそれは無理だと思う。あとは、高齢者が来てもダメかと言えばそうではないわけで、仕事をしない人でもこちらで生活してもらえれば、それなりのことはあるわけで、人を集める方策は、いろんな情報を外に発信していくことによって、その情報を見て興味をもったところに来る。情報を如何に外に発信するか、いろんな面でそういうのがないと魅力発信とかいっても難しいと思う。それを市でやれといっても難しいので、個人でもいいから発信してもらえるところがあれば違うのではないかな。
59	塩川ふるさと会館	子育ては大切だと思うが、子育ての国の方針が間違っていると思います。子育ては子どもを産んでからの子育てをやっていますが、人口減少については、子どもを産まないことなんです。普通に考えると結婚できるかできないかという話になるんだけど、基本的に大きな経済問題だと思っている。要するに給料が上がらなければ・・・。就職氷河期世代の人たちが、大学に進学するのに奨学金を 400 万円・500 万円と借りて、返すのに給料が上がらなくて、また非正規で働いてと無茶苦茶やっちゃったんで、その歪みがきている。一番は、経済問題なのでお金をなんとかするか。 喜多方のみんな持ってる人、住んでいる人のお金が、若い人のお金が少ない。お金が少ないから結婚できない。それをやっていかなくちゃ、それは産業でしょ、働く場所といってもお金が儲からなかったらダメでしょ、産業と結びつかないと産んだ人は育てるけれど、人口減少はもう治らないというのが私の考えです。
60	塩川ふるさと会館	妻は、子ども作れない、作りたくないではなくて、作ったとしては育てていけない、というようなことを言っている。今はたいへんだ、ということだと思う。
61	塩川ふるさと会館	今の若い人は、結婚しても個人の時間とか自分本位で考えているから、結局パートナーを見つけても・・・、時代が変わっちゃったのかなと感じる。
62	塩川ふるさと会館	子どもを作っても、損をする、得をしない。長い目で見た時に日本にとっても裕福になるし、自分たちの生活も自分たちの子どもたちも。今のままで行ったら自分たちは年金を貰えないし、人口減少になって 8,000 万人になっていくかという話になると、どんどん下がってきて、世界の日本になっているが、えっ、途上国？てなりそうですね。将来に魅力がない。
63	塩川ふるさと会館	自分の行政区は 50 軒くらいあるが、小学生は 3 人しかいない。結局息子も家を出て御殿場に家を建てている。
64	塩川ふるさと会館	学校統合の話も出ている。交通の便とかスクールバスの問題も出てくる。
65	塩川ふるさと会館	国の政策が東京一極集中で、東京は減り始めましたが、変えないとダメですよ。ここでの産業を育てていってお金がもらえるような産業を生み出さなければダメですよ。

66	塩川ふるさと会館	共稼ぎもいいけれど、専業主婦もやれるぐらいの給料をいただかないと、奥さんの子育てってものすごく大変だから、そういうところまで考えないと、女の方は子ども産まないし産みたくないと思うし、日本の将来が暗いし、それははっきり言って政治家の責任ですよ。特に、国政の責任ですよ。だから国政に従って市の行政をやらなくてもいいのではないかな。補助金を貰ってやるのはいいけど。後は、市議会の人は、公的な税金をどう配分するか、新しいものを作っているわけですよ、条例とか。そう考えたら人口問題どうするんですかって一所懸命アンケートされたから答えましたけど、人口問題は、国策が間違っているんで、まず国に文句を言うことだと、それが最初のスタートでしょって、それをやってから補助金は貰わないとしょうがないので、補助金を貰って、後は独自の政策をやっていくしかない。
67	塩川ふるさと会館	専業主婦でいられるという立場を築けるように、収入が夫のところにないと。ほんと子育てって大変なんですよ、3人育てましたけれど、その大変な中身はキリがないんですけど、やっぱりお金なんですよ。共働きをしている方を見ているとかわいそうになる。朝早く起こされたり、学校が終わったら児童クラブに行って、小さいうちは母親の愛情いっぱいということが必要ではないかと思う。
68	塩川ふるさと会館	生活していくのに仕事をしなくちゃいけない。お金が必要だということで共働きということが出てきていると思うが、昔の専業主婦という時代は難しくなっていると思う。
69	塩川ふるさと会館	私の行政区にも 80 軒近くあるが小学生がいない。空き家も多くなってきたが、まず若い人が結婚しない、女性が自立しているから関係ない。喜多方だけでなく全国的に同じ状況。自立すればお金はある、車はある、自由に旅行ができる、結婚しろ、結婚しろ、子ども産め、子ども産めと言ったって、それは囃し立てているだけで何にもならないとは思っている。子どもがいなくなって太鼓台も出せなくなった。
70	塩川ふるさと会館	塩川駅の東西自由通路ができて、今度西の方から 200 人の子どもが通るわけで、冬雪が降っている時に 200 人集まってエレベーターを使って東側に出る。今年のような大雪で歩道がなくなって、真ん中から消雪が出ている道路を子どもが歩いている時に、両側から車が来る。200 人の子どもが一行に並ぶ。交差点に信号があり、全員が渡り切るまで 30 分くらいかかる。学校と PTA と警察で話し合いもしたようだが、何らかの方策（時間帯による一方通行規制等）を考えないと大変なことになるのではないかなと思う。小学 1・2 年生などはかわいそうだ。
71	塩川ふるさと会館	喜多方市全体で学校が多すぎます。208 人しか生まれていないのに今喜多方に小学校は何校あるんですか？単純に割ったら 10 人とか 20 人の入学生です。財政の話とリンクするんですが、子どもいないのに学校が多いから、学校の施設の維持費とかを考えたら学校は統廃合しないと、財政もない、子どももない。子どもがいらないからよりよい教育が受けられない。高度な教育が受けられないと私は思っているんで、市議会としてはどう考えているんですか？

72	塩川ふるさと会館	まったくもって人口減少のスピードは、議会が持っている 5 年前・10 年前の人口減少のビジョンよりも、ずいぶん前倒しだと思っています。すごい勢いで減っています。統廃合を考えていますというスピード感をもっと上げていかないと、厳しい現状になると思います。
73	塩川ふるさと会館	子育ての前になんで結婚できないのか、とかいう意見が欲しいということだったのですが、それも大事だと思うのですが、逆に言うと今結婚している一人っ子、一人っ子じゃなくて二人っ子や 3 人兄弟になってもらえれば手っ取り早くて、だから子育て支援だと思うんです。一人じゃ寂しいから二人目・三人目を頑張ってみようかという既存のご夫婦・家族が増えてもらえれば、もっとスピードが早いんです。付き合っ結婚しましょう、はい 2 年後ですとなったら 4 年も 5 年も先の話になってしまいます。だったら既存の家族、だから子育て支援だと思うんです。
74	塩川ふるさと会館	塩川地区は増えているかもしれないが、もうアップはきています。あと下がるだけです。喜多方地区・塩川地区が下がるということは、先ほど行政区の話もありました。もっといなくなります。残念ながら。市の財政も厳しい、だったら市の施設を統廃合しなかったら、税収が入らないんですよ、若い人たち・現役世代がいらないんですから、給料が低いので税収は下がるだけなんですから、企業もこないんですから、ということはもっとスピード感を持っていきたいと。何で他の市町村が統廃合しているのに、喜多方は統廃合しないのか。会津坂下・猪苗代みんなやっていますよね、何で喜多方だけはやらないのか、「子どもの声が聞こえない」そういう意見も確かにあります。行政区を守るのか、市を守るのかと考えた時には、行政区を守るために市がなくなっっては、そもそも市がなくなってしまうんですから、喜多方市を残すためにどうするんですかというのを考えていただきたいです。
75	塩川ふるさと会館	喜多方二中の制服が変わります。何で制服変わるんですか？学校名も変わらない、校歌も変わらないのに、何で制服を変えるんですか？財政が厳しいです。個人の家族の負担は大変なんです。子どもにはお金がかかります。何でわざわざお金がかかるようなことをするのか。制服は丈夫なので、お下がり文化もあるんです。というのを子育て支援というのであれば、もっと親御さん目線が必要ではないのか、制服を変える意味がないんじゃないかと思っている。 実態調査から見たニーズが書いてあるのですが、保育・学校費用の軽減 60%、6 割の人間が軽減して欲しいと望んでいるので、変えなくても良かったんじゃないかと思っています。
76	アイデミきたかた	喜多方市では学校が少ない（高校）選択できる学校が少ない
77	アイデミきたかた	これ以上統廃合すると人口が少なくなる。（高校）
78	アイデミきたかた	喜多方市には女子校がない。男子がいるとダメという子もいる。（高校）
79	アイデミきたかた	東京ではマンモス校が多くなっている。上三宮小学校のような小規模特認校をどんどん PR していけば生徒や家族がふ

		えるのではないか。
80	アイデミきたかた	ファミサポ利用の助成金が減っている。
81	アイデミきたかた	赤ちゃん預りが少ない。山田産婦人科が止めてからは猪苗代を勧めている。
82	アイデミきたかた	山田産婦人科の場所を利用して、民間が実施する仕組みができないか。
83	アイデミきたかた	夏休みの児童館利用時に弁当を作る手間が大変。今年から 500 円の弁当を利用することはできるが、給食センターで作ってもらうことはできないか。
84	アイデミきたかた	子どもに関する予算は高齢者よりも優先すべき
85	アイデミきたかた	公共施設で勉強を教えてくれる場所があったらいい。昨年先生 O B の方が行政で場所を準備してくれたら対応したいとあった可能か。
86	アイデミきたかた	めぐプラザ利用で市内と市外に差を付けたらいいと思う。市外利用はもっと高く。
87	アイデミきたかた	幼児体育を増やしてほしい。
88	アイデミきたかた	耶麻農高跡地を利用して農業を学べる中学校を作って、全国から募集したらどうか。
89	高郷公民館	山都中、高郷中が統合になると学校が遠くなり、地区から離れてしまのではない心配。
90	高郷公民館	若い人の出会いが少ない。
91	高郷公民館	学校がなくなると地域コミュニティ活動がなくなるので地元に残してほしい。
92	高郷公民館	廃校の跡地がサル逃げ場になっている。そこから近隣に被害があるので電気柵の補助率を上げてほしい
93	高郷公民館	アイデミきたかたの利用料を上げたらいいい。市内の方も 100 円位にし、その代わり市外は 300 円にするようにしたらいい。
94	高郷公民館	白河市の市立図書館がいい。複合的な図書館があれば、目玉になって若い人が集まると思う
95	高郷公民館	高郷中、山都中を統合して耶麻農高に行くのは反対です。そこにお金を使わず違うところに使うべきです。高郷中から電車で喜多方一中に通わせるのがいいと思います。
96	高郷公民館	荻野漕艇場に夏場限定でコンビニがあったらいい。
97	高郷公民館	喜多方二小の外壁だけでも改修してほしい。観光客も多いところなのに酷すぎる。
98	高郷公民館	しだれ桜並木道駐車場料金は任意ではなく、一台いくらでしっかり徴収すべき。難しいのであれば県にも要望すべき
99	高郷公民館	荻野駅前に教員住宅があるが空き家の状態。それを市営住宅として活用できないか。若い人に住んで欲しい。

産業建設常任委員会：「喜多方市の地域資源の活用について」

No.	会場	意見要望等
1	山都公民館	空き家の活用と管理について、どのように進めていくのか。
2	山都公民館	空き家の宅内の水道管の老朽化で漏水等が出ている。
3	山都公民館	これまで空き家だったところに親類の方が引っ越し、定住した。
4	山都公民館	地区内で相続放棄したところが2件あり、今後増加する見込み。
5	山都公民館	空き家を活用し、二地域居住を推進すべき。
6	山都公民館	地区内で空き家はあるが、近隣からの苦情はない。
7	山都公民館	空き家対策の中で、登記上の申請経費を軽減してほしい。
8	山都公民館	喜多方の観光で蔵めぐり、ラーメンめぐり等があるが、周遊型の観光をすべきではないか。滞在時間を増やし、市内の有名物産や地場農産物の購入を促す工夫をすべきでは。
9	山都公民館	自転車ロードを活用した観光客の誘致と市内の観光めぐりに自転車の活用と自転車の貸し出しに取り組んでいる業界の方へ支援をすべき。
10	山都公民館	再生可能エネルギー水力発電について、一ノ木・蓬萊地区に郡山の業者が来ており、小水力発電が可能かどうか3年くらいかけて行うとのことであるが、市としてわかっているのか。
11	市役所本庁舎	市内の空き家の件数はどのくらいあるのか。今後どのように対策していくのか。
12	市役所本庁舎	国勢調査で空き家の件数をまとめているのか。
13	市役所本庁舎	持ち主、所有者不明の空き家をどうするのか。
14	市役所本庁舎	空き家にタヌキやハクビシンが侵入し、環境・衛生上悪い、対策は。
15	市役所本庁舎	空き家が増加し、所有者はわかるが、遠くにいて管理せず、雑草が繁って区役員で定期的に刈っているが、除草剤を支給してほしい。
16	市役所本庁舎	空き家は無償で譲るような形ができないか。
17	市役所本庁舎	空き家の中で建物がしっかりしている物件もあり、使える空き家を全国にアピールし、有効に活用してほしい。
18	市役所本庁舎	田舎暮らしのよさをPR、広報し、都会からの定住者を確保してほしい。冬期間の除雪対策は必要なので、行政とともに

		に対処していきたい。
19	市役所本庁舎	空き家対策として古民家を改装し、ゲストハウスとして活用し、交流に取り組んでいる。
20	市役所本庁舎	空き家にスズメバチが巣を作り危険だが、防除の方法は。
21	市役所本庁舎	カーボンニュートラル、カーボンオフセットについて、農業でも取り組んでいる。地熱発電開発を簡単にできるシステムが 1 億くらいで可能となりエネルギーの自給が可能となる。
22	市役所本庁舎	再生可能エネルギーの計画ができていますが、何をやるのか、全市民を巻き込んでやるべきと思う。
23	市役所本庁舎	喜多方のエネルギーと金を地域で回して循環させ、豊かにしていくべき。
24	市役所本庁舎	観光客が現在 150 万人来ているが、ラーメン食べて帰ってしまうのは残念だ。
25	市役所本庁舎	S L が走っており、この写真を撮りに来ている人達をうまく市内のほうへ誘導できないものか。
26	市役所本庁舎	自然が豊かで高山植物の豊富な飯豊山へ天皇陛下が登山するよう議員の方々がまとまって要請してはどうか。
27	市役所本庁舎	飯豊連峰における喜多方市の所有地について、市のホームページや県の地図に載っていないので、本市の登山道としてその所在を地図に明示すべきである。
28	市役所本庁舎	近年、飯豊山にも外国人が登山しており、登山道を支障なきよう整備すべきである。
29	市役所本庁舎	子供達が飯豊山に登山するよう中学校の教育を通して指導すべき。
30	市役所本庁舎	御沢駐車場のオーバーツーリズム対策を検討すべきで、地区で自主規制をして制限しているが今後の対策をどうするのか。
31	市役所本庁舎	喜多方の基幹産業は農業というが、実際は工業で農業は低迷している。
32	市役所本庁舎	農業人口は高齢化し後継者不足で、解決していくには大規模化、法人化で省力化し、小規模農家は農業機械の共同化を進めるべき。
33	市役所本庁舎	中山間の農業については交流人口を増やし、地域の人と交流し、特産品を生産、販売し、収入を増やす形態を作るべき。
34	市役所本庁舎	中山間部の悩み等、互いに情報交換、共有し理解しあえる関係性を作っていく。
35	熱塩加納公民館	喜多方市の蔵、ラーメン、温泉は終わっているのではないかと。今後、インバウンドの為に Wi-Fi の整備を進めるべき。
36	熱塩加納公民館	自然を生かし、生物の多様性、ビオトープ、組織を育成。喜多方の魅力を発信することが重要。環境教育、環境庁が 2030 年まで進める世界的取り組み。サーティ・バイ・サーティ 30×30。地球の陸地と海洋の 30%以上を保護地域と

		して効果的に保存する目標。喜多方市も取り組んでほしい。
37	熱塩加納公民館	人材育成による資源づくり。サイクリングロード予算について、減額。
38	熱塩加納公民館	日中線しだれ桜の延長活動をしているが、駐車場の整備とトイレの整備が必要ではないか。
39	熱塩加納公民館	ひめさゆり群の再生が必要ではないか。
40	熱塩加納公民館	滝、清水、温泉などを巡る観光ルートを。
41	熱塩加納公民館	森林の中には、お金になる資源がある。山、森林が荒れているので、行政が森林整備など実施して、市民が活用できるようにしていく。
42	熱塩加納公民館	プチ林業として、市民自ら実施できるように、外からも人を呼べるようにしてはどうか。
43	熱塩加納公民館	先進的な取り組みとして、秋田の東成瀬村では、IT 環境を整備して産業が生まれ、雇用も増える。若者の雇用が増加。27 人から 270 人まで増加。若者を育てる、人材育成が大事である。
44	熱塩加納公民館	三ノ倉ではエアーパークがあり、塩川では、バルーンあがるので、航空スポーツとして取り組んではどうか。
45	塩川ふるさと会館	三十三観音 御朱印を受けたいが人材がいらない。
46	塩川ふるさと会館	農家の活性化として、生產品の六次化を推進しては。
47	塩川ふるさと会館	蔵を活用して、蔵座敷に宿泊できるように、蔵所有者に対して喜多方市の発展のために協力をして頂けるように、行政がお願いする。
48	塩川ふるさと会館	喜多方市には、多くの桜が存在しているので、桜を巡る観光を。桜ツアー等企画してはどうか。
49	塩川ふるさと会館	空き家を活用した、宿泊施設を、例えば、インバウンド向けに長期滞在できるように活用しては。
50	塩川ふるさと会館	危険な空き家、空き地を活用できないか。
51	塩川ふるさと会館	古屋敷遺跡など、観光地にする話があったが、現在は怎么样了のか。
52	塩川ふるさと会館	観光客が長期滞在できるように、お酒を活用しては。
53	塩川ふるさと会館	喜多方市は、宿泊施設が少ないのではないか。
54	塩川ふるさと会館	塩川そばと雄国アスパラのコラボイベント。
55	塩川ふるさと会館	観光のPRとして、SNSの活用。
56	塩川ふるさと会館	磐越西線の活用。SL磐越号。撮り鉄の充実。
57	塩川ふるさと会館	飯豊山登山の利用。
58	塩川ふるさと会館	アフターコロナ事業の取組みを検証したのか。

59	塩川ふるさと会館	農林業の人材不足を解消していただきたい。木材を活用できないか。会社組織をつくって、人材を育てる。先進的な取り組みをして、他から視察に来るようなことが良いのでは。
60	アイデミきたかた	サイクリングコースの除草が悪い。他市町村と連携したイベント開催も必要ではないか。
61	アイデミきたかた	飯豊山登山者が少なくなっている。増加策が必要ではないか。
62	アイデミきたかた	教育旅行の誘致に力を入れて欲しい。
63	アイデミきたかた	今年の桜まつりの誘導員の配置が早すぎたのではないか。開花時期によりもっと柔軟な対応がとられないのか。
64	アイデミきたかた	空き家の草刈り等を地域で行っている。支援が必要ではないか。
65	アイデミきたかた	米のミュージアムのような施設があれば良いと思う。
66	アイデミきたかた	地域おこし（例として福寿草まつり、本木上堰棚田）は周囲をどう巻き込むかであり事務局体制が大切である。
67	アイデミきたかた	綾金工業団地に企業誘致をしてもらいたい。
68	アイデミきたかた	耶麻農業高校跡地の利活用をしてもらいたい。
69	アイデミきたかた	喜多方には宿泊施設が少ない。
70	アイデミきたかた	喜多方ラーメンのブランド化に努めてもらいたい。
71	アイデミきたかた	蔵の利活用をしてもらいたい。
72	高郷公民館	地域おこし協力隊の任期は3年間のようだが、それ以上にはならないのか。
73	高郷公民館	荻野漕艇場の近くにコンビニか売店が欲しい。（季節的なものでもよいので）
74	高郷公民館	昨年、高郷中学校の寄宿舎が売却されたが、本村で実施している大学生との交流会に活用できなかったのか。
75	高郷公民館	空き家対策に力を入れてもらいたい。

その他（テーマ以外）について

No.	会場	意見要望等
1	山都公民館	昨日新聞に山都中学校と高郷中学校の統合により旧耶麻農業高校の校舎を利用する旨の記事が掲載された。この事は地元への説明もなかった。特に山都まちづくり協議会への説明がなかったが議会で決めたのか。 また、父兄が特に反対しているが何故現在の山都中学校の校舎ではいけないのか。もっと地域の意向、保護者の意見

		を聞くべきではないのか。
2	山都公民館	先日いいでの湯に行ってきたが、利用者が 3 名しかいなかった。人件費、光熱費、維持管理費には相当なお金がかかっているはず。民間へ委託や譲渡して経費抑制に努めてはいかがか。
3	山都公民館	スポーツの全国大会へ行く際に市から 1 万円の助成金がいただけるが、如何せん、証明する書類が多く、手続きが複雑で面倒である。簡潔にしていきたい。
4	山都公民館	7 月 13 日、親子グマ 3 頭が早朝出没し、危険と思いすぐに支所、本庁へ連絡をしたが、その後何の報告もなかった。クマの対策をしっかりとってほしい。
5	山都公民館	イノシシの対策について、堂山地区では毎年被害が多発しており、個人で侵入防止対策をしていたが、被害が収まらず今年は 1 名の方が水稲作付をやめた。
6	山都公民館	電気柵の補助金申請書の内容を簡単にしてほしい。
7	山都公民館	サルの追い上げ花火を十分に確保してほしい。出没し、支所に取りに行っても本数が少なく追い上げができない。
8	山都公民館	追い上げ花火が支所より十分配布されないので、直接煙火店より購入し、追い上げをしている地区もあるが、行政としてどう考えるか。
9	山都公民館	花植えの助成金について、補助申請書類を簡単にしてほしい。区長申請でなくても係や担当の申請で認めて欲しい。
10	市役所本庁舎	そばの振興について、過去山都町、特に一ノ木のそばの集客はすごかった。現在はかなり厳しいがこの資源を再度活用し地域活性化をはかれば税収に繋がるのではないか。
11	市役所本庁舎	有害鳥獣について伺いたい、どこへ相談すればいいのか。作物の被害が多い。(具体的にはハクビシン)
12	市役所本庁舎	不法投棄がかなり増えている、特に家庭の粗大ゴミ等が増えている。 慶徳の舞台田だが区長を通して申し入れを行つたが大変困っている。
13	市役所本庁舎	生活困窮世帯への支援について、市では概ね実態を把握しているわけなので、必要な制度を広報や HP だけではなく、戸別訪問などをして詳細までしっかり説明し対応していただきたい。
14	市役所本庁舎	水道代が値上がりし、集会所の基本料金も上がった。行政区への補助も検討していただきたい。
15	市役所本庁舎	県道沿いの法面に木が生え、地区の農業団体で要請しても伐採をしてくれない。また、県道の側溝もあげてほしい。
16	市役所本庁舎	地区内の環境を整備し、有害鳥獣の来ない集落にしたい。

17	市役所本庁舎	冬期間の県道の歩道部分の除雪について、地区でやれるような制度を検討してほしい。
18	市役所本庁舎	子供達が夏休みにボランティア活動に協力しており、大人が楽しくやっていたら、子供達が成長して遠くに行っても地元に戻ってくると思っている。
19	市役所本庁舎	元耶麻農業高校の活用について、農業者の研修施設や農業に特化した中学校として、地域に風を呼び込むような特徴のある中学校の設立はできないのか。
20	市役所本庁舎	大人数は大人数の少人数は少人数の教育の良さがあるので、右ならいの学校の姿ではなく、それぞれ特徴のある学校で良いと思う。喜多方の特徴ある学校にしてほしい。
21	市役所本庁舎	学校の統合で反対するのは地域で、賛成するのはPTAで、それぞれ考え方に大きな差がある。
22	熱塩加納公民館	敬老会等の事業説明会について出席者の8割は、市の説明に納得していない。交付額における考え方の中の、「労力がかかる」という言葉が気に入らない。役員の人たちはみんな、それを承知でやってあげようと思っている。それを「労力」とは何事か。金額に差をつけるのもおかしい。みんな税金を払っている、該当者に対しては平等に扱うのが筋ではないか。「金額に差をつけて欲しい」という意見を鵜呑みにして差をつける。ふざけている。
23	熱塩加納公民館	喜多方市は移住を促進していると思うが、多分せいぜい30代くらいまでじゃないですか。ある意味60代くらいになった退職者を呼んでくるのも一つの手段ではないか。頭の片隅に置いていただきたい。ジジイやババアが来てくれれば孫がついてくる。そして自然が好きだという子たちが居着いてくれるかもしれない。空き家対策になるかもしれない。
24	熱塩加納公民館	敬老会の予算がどんどん削られ、このまま行ったらゼロになってしまうかもしれない。それを待っているのか、それじゃこれから将来10年後20年後、「敬老会もない、そういう喜多方市になってしまったんだな」なんていうのは寂しいじゃないですか。
25	熱塩加納公民館	敬老会をやらない行政区も結構あって、やっても参加率は30%、そこに支給する祝い金も削減するくらいなので、将来どうになってしまうのかみんな不安に思っている。行政が言っていることはその通りかもしれないけれど、それを受け取る市民側からするとイメージ的に「喜多方はもうダメだ」と思ってしまう。そういうことも考えて予算をつけたり説明を上手にやらないとダメだと思う。
26	熱塩加納公民館	市町村合併から20年、財政も厳しくなっている。既存の施設も古くなっている、学校の無くなる、「夢の森」もどうなってしまうのかなど、「いったいどうなってしまうのか」と思っている人はいる。しかし「市の方に言っても無駄だ」と一種の諦め的な雰囲気もある。行政側としても、耳の痛い話だけれども、そういった話も聞かないと行政に反映し

		ないし計画も作れないのかなと思う。情報はオープンにして、どんどん流してもらえれば、いろんな声が出て来るのが健全かなと思う。
27	熱塩加納公民館	議会でも今どんなことが話題になり議論しているのかなど、広報や傍聴の機会はあるが情報として流してもらうと、いろいろな声がもう少し聞けるのではないかと思います。今日の意見交換会も、なかなかここに来るというのもハードルが高いと感じる。ハードルを下げる方法はないかなと思う。区長になったから参加したということもある。案内文書も堅い。もう関係ないかなと思ってしまう。若い人が来れるような軽い懇談会の文書にならないかなと思う。住民の目からすると何をやっているかわからない。
28	熱塩加納公民館	全国には、子育てとか、若者誘致だとか、企業誘致だとか、苦勞して成功している自治体はたくさんあるので、ぜひ議員さんはそこに行ってきてほしい。そして挑戦してほしい。仕事がなくなってしまいますよ。行政にも同じことが言えますが。
29	熱塩加納公民館	今回の敬老事業について、差をつけてしまったことは、敬老会の対象者に対して不公平だと思います。公正公平に欠けます。差別してはいけないと思います。対象者は平等であるべきです。それが行政です。敬老会を開催した行政区は大変です。区長さんをはじめ、それに関わる人、そこに支援をしてあげればいいのではないかなと思う。1万円でも2万円でも、開催した行政区に支援すればいいと思います。行政の考え方としてはその通りかもしれないけれど、こんなやり方をしていたのであれば、だれもついていかなくなってしまうと思う。敬老会をやる行政区さんもすごい苦勞をしている。苦勞している割には30%しか集まらない。それなのにその行政区には一人当たり1,700円の支援をする。でもできない行政区もある。対象者が少なかったり、施設に入っているなど。そこには一人当たり1,200円。ずるいじゃないですか。行政区でお祝い金も何もやらないとなったら0円。1,700円と0円の差ができる。考え方としては大丈夫だとして予算化されている。議会でも審議されている。区長には説明だけ一方的にしてこれでやってくれ、というのはあまりにも不親切ではないのかということで説明会の時に紛糾した。予算が減るなら減ってもいいけど、対象者に差をつけてはいけないと思います。開催した行政区に補助する形にしてもらいたいと思います。市町村合併前の旧町村と旧喜多方市の考え方が、調整できずそのまま来てしまった。コロナがあつて、今日に至ったということだと思う。
30	熱塩加納公民館	7月19日に行政区長会で、市から説明があつた。敬老会の実施のあり方で、交付額に差をつけるのはいかがか。行政サービスは公平でなければならないのではないかな。見直しをするべきではないかな。
31	塩川ふるさと会館	喜多方市ってラーメンくらいしか知らない。YouTubeを見ても喜多方のことはほとんど出てこない。ラーメン以外にも

		こんなところがいっぱいありますよ、住むところもいっぱいありますよと、その辺を宣伝して人を呼ぶ。高校生や若い人たちに SNS でもっと宣伝してもらうようなことをしてはどうか。
32	塩川ふるさと会館	喜多方市でやっているこんなこと（政策）は、申し訳ないけれど、どこでもやっていることだ。まず喜多方市を知ってもらうことだと思う。喜多方市はそばとか美味しいものがたくさんありますよ、などというのは、YouTube では全然見たことがない。まずは、喜多方市を宣伝することだと思う。
33	塩川ふるさと会館	空き家がずいぶん潰れている。もったいない。東京あたりから使いたい人を呼んで仕事をネットワークで結ぶ。工場がないと仕事ができないと思うがそうではない。
34	塩川ふるさと会館	やっぱり発信しないと。テレビはお金がかかるので、YouTube だったらそんなにお金をかけないでできる。三島町の只見線の川霧の例、インフルエンサーは作った方がいい。恋人坂と夕日のドローン映像とか。長崎県小値賀町の例、青森や長野のある自治体では、外国人を採用して外国への情報発信を専門にやってもらう例など。喜多方市で検索しても 3 年前のものがでて来る。
35	塩川ふるさと会館	喜多方は、蕎麦がすごく美味しいんだから、観光としての蕎麦をもっと売り出してもいいのではないかな。熊倉に老夫婦がやっている農家の蕎麦屋さんがあって、Google で検索して 2 日連続で食べに行きました。天ぷらも美味しくて、今まで食べ歩きした中で最高でした。農家の方で野菜をつくるだけでなく、蕎麦打ちも上手な方がいらっしゃるんだったら、そういうのが何軒かあったらいいと思う。塩川町内にも、レトロ調で美味しい蕎麦屋さんがあるよねと、お隣の市の方に言われたことがあります。蕎麦打ちの伝承などもやっていただいて、お店などもやっていただければ、お金の収入も入るのかなと思います。
36	塩川ふるさと会館	喜多方は、何でも美味しいです。米も酒もしかかも安くて、それをみなさんはわかっていらっしゃらない。水もうまい。素材はあるのになぜ政治がうまくいかないのか。ラーメンも喜多方で生産した小麦でやったらもっと美味くなって、産業まで行けるのではないかな。お金と観光だけでなく、生活に結びつけるまでトータルでやれる人がいないとお金を動かすところまでやれないと、いつまで経ってもできないというふうになってしまう。
37	塩川ふるさと会館	喜多方に住んでいてこの近辺に勤めていて、それなりの給料をもらえるのかということ厳しいですよ。ローンで家を建てられるのは、市役所に勤めている人か大企業に勤めている人で、他の人は借金なんかできません、と言われていきますよね。その現状が全てを物語っていると思います。
38	塩川ふるさと会館	給料はそのままだけど物価は上がっていくし、税金や保険料も当たり前に取りられていくし。収入の半分は取られていく、昔だったら一揆が起こっている。水道料金も上がって、水道料金の民営化は絶対やめてほしい。インフラを民営化

		したら絶対ダメです。
39	塩川ふるさと会館	線路を挟んで旧町内と新しい町内（西新田）に分かれています。新しい町内には御殿場を含めれば200人くらいは子どもがいると思う。街の空洞化で旧町内にはほとんど子どもがいない。周りだけはものすごく子どもがいるが、店はどんどん潰れ廃れていく町になっている。最後には店が無くなって年寄りしかいなくなって、お祭りも一つの町内だけではできなくなっている。他所の地区と合併してやらないと。去年、区長会長の名前で行政区の見直しを市の方に要望した。このままでは小さい行政区は成り立たないと。そうすると昔だったら「歴史が違う」とかで反対が出たが、今は違って早く見直した方がいいと長老たちが言うくらいです。西新田ができた当時、20世帯になったら新しい行政区にすると言われていたが、40年経って今200世帯になっても全然ならない。市町村合併もあったが。偏った行政区になっている。消滅旧町内とまだまだ増える新しい町内。塩川小学校は、去年は会津で3番目に大きいと言われていた。偏った歪な状態になってしまっている町の状態を根本から見直していかないと、目先の手当だけでは追いつかない状態である。
40	塩川ふるさと会館	塩川中学校の正座事件について、議会としてはどんなふうに捉えているのか。お聞きしたい。あれは、体罰ではないと聞いている。静かな先生で、いい先生だとも聞いている。誰が、報道機関に漏らしたのか、犯人探しになっている。
41	塩川ふるさと会館	働く場所がないから人がどんどん出ていってしまう。企業誘致を進めてできるだけ人が定着するようなこと。部署を作って市でもやっていると思うが、作っただけでなく、どうなっているのか、結果が出ているのかを知りたい。業種を固定的に考えないで当たって欲しい。
42	塩川ふるさと会館	工業団地は、何十年も前からやっている。今更やるというのは解せないです。
43	塩川ふるさと会館	工場でないとダメなのか。テーマパーク的なものではダメなのか。
44	塩川ふるさと会館	町がドーナッツ化してきている。旧市町村がそうになってきてしまうと、例えば雪の除雪費用とかがどんどんかかってくるような状態なので、法律で狭めるのは難しいと思うが、できるだけそれが外に広がらないように、まとまる形（コンパクトシティ）を市も考えているんですよというふうに、市民に理解を得るような働きかけがもっと欲しいと思います。
45	塩川ふるさと会館	今の親は、子どもに、学校でも大学でも会社でも、地元に残れとは言わない。地元会社があったとしても選択肢にならない。
46	塩川ふるさと会館	塩川町の内水氾濫について、昭和31年に大洪水があった。身神川の除塵機の説明会があったが、今更と思ってがっかりした。4つの大きな集水池を作ったが、あれでは、まったくの不十分だと思う。遠田・貝沼の揚水機場は、農林水

		産省の管轄で農業用の施設なので、万が一御殿場地区が水害になった時は、川に排水する施設として使えない。その場合は、国土交通省の許可が必要だと聞いている。今から備える必要があるのではないか。
47	塩川ふるさと会館	塩川駅の西側、ロータリーから抜ける道路がないので抜いたほうが将来的には便利ではないのか。
48	塩川ふるさと会館	スクールガードリーダーをやった経験から、子どもの達の通学路が本当に安全かどうか確認して欲しい。(危険なところがいっぱいある)
49	塩川ふるさと会館	花しょうぶの湯ってなんで無料？なんですか。ルールが緩いと聞いている。
50	塩川ふるさと会館	敬老会事業について、今回の市の対応は問題だ。
51	塩川ふるさと会館	市道の側溝について、グレーチングから木が生えている。側溝の管理が不十分では。
52	塩川ふるさと会館	敬老会事業について、区長会での説明があった。同じ高齢者に差をつけるのはどうなのか。これについては、次回までに検討していただきたい。敬老会をやめてもいいのではないか、一度アンケートを実施したが、子どもにお金をかけてもいいのではないかと声もある。
53	塩川ふるさと会館	塩川1区では、防災の外部スピーカーからの音が聞こえない。
54	塩川ふるさと会館	浸水時の避難場所として、車の避難場所も含め検討していただきたい。
55	アイデミきたかた	高齢化社会においては、お年寄りの生きがいづくりをしていくことが大切。野菜を作り直売所で販売をしてそのお金で、仲間で温泉旅行に行くというようなことなど。高齢者が元気であることにより、医療費の削減にもつながっていくのではないかと。
56	アイデミきたかた	市に何か相談する時にどこに相談していいかわからない。総合案内があるといいと思う。今のままではとても不便を感じる。相談にいった時の職員の対応についてももっと市民に寄り添った対応をしてほしい。
57	アイデミきたかた	学校統廃合により学校給食共同調理場の運営が心配である。
58	アイデミきたかた	「めぐプラザ」の利用料金に差をつけて欲しい。
59	アイデミきたかた	高齢者対応への窓口がわからなかった。
60	アイデミきたかた	意見交換会は1つのテーマだけで集まる形も良いのではないかと。
61	高郷公民館	今までも熊、イノシシは出ていたが今年は猿がでて困っているのでなんとか駆除してほしい。担当の方もよくやってくれてはいるがなかなか大変な状況だ。農家をやっている人たちはとてもたいへんな状況。高齢化や後継者不足、また獣の出没などで耕作放棄地が増加している。やる気がなくなってしまう。
62	高郷公民館	喜多方市に大きな病院がないので大きな病院を建てるといいのではないかと。人も集まり、人口増につながって

		いくのではないか。
63	高郷公民館	喜多方市に工業団地はあるのか。もっと企業がきてくれれば人口も増え、税収も増えるので。
64	高郷公民館	有害鳥獣の発生が多いので対策に力を入れて欲しい。
65	高郷公民館	敬老会経費が、開催の場合一人当たり 1,700 円、記念品配布の場合 1,200 円とし、500 円の差があるのはおかしいのではないか。

これらいただいたご意見・要望等につきましては、議会としてもその実施・実現等に向けて今後も鋭意対応に努めて参ります。多くのご発言をいただき誠にありがとうございました。